

令和7年度 第1回小樽市子ども・子育て会議 会議録

日 時：令和7年8月7日（木）午後6時00分～午後7時00分

場 所：小樽市役所別館3階第二委員会室

出席者：片桐会長、松本委員、桑原委員、小笠原委員、石川委員、厚谷委員、渡邊委員、法本委員、木村委員、川原委員（欠席者：草島委員、林委員、一鐵委員、松並委員）

事務局：こども未来部長、こども未来部次長、こども未来部主幹、子育て支援課長、こども家庭課長、子育て支援課教育保育係長、子育て支援課事業係長、子育て支援課主査、子育て支援課事業係員

<1 議事>

(1) 小樽市子ども・子育て会議委員の補選及び副会長の選出について

●事務局より

資料に基づいて、副会長についても引き続き校長会からとしたい旨説明した。

●委員からの意見等

特に無し。

(2) 第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況（令和6年度実績）について

●事務局より

資料に基づいて、第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について説明した。

●委員からの意見等

- ・放課後児童健全育成事業にある「新・放課後子ども総合プラン」とはどういったプランなのか。
⇒国から出ている通知で、放課後児童クラブ（共働き家庭の児童を対象）と放課後子供教室（すべての子どもを対象）の一体的な実施の推進などが定められているもの。
- ・放課後子供教室は令和7年から行うものなのか？これは共働きではない家庭についても参加できるようになるということか？
- ・地域子ども教室について、今までは教育部の方で担当していたと思うが担当部署が変わることになるのか？
⇒放課後子供教室については既に始まっている。共働きではない家庭も参加できるようにすることが望ましいと国からは示されているが、具体的な話はまだ出ていない状況。地域子ども教室については担当部署の方は教育部で変わらないもの。
- ・放課後児童クラブについて令和7年から18時から18時半に時間が伸びたと思うが、利用者は増えているのか？希望があれば19時まで延ばすことも検討するか？
⇒まだ統計は取っていないが利用されている方もいる。ニーズの調査を行った際には19時まで延ばして欲しいとの声もあった。すぐにと言う訳ではないが検討は行っていく。

(3) 中央保育所の閉所について

●事務局より

資料に基づいて、中央保育所の閉所について説明した。跡地の取り扱いについてはアンケート等を今後実施していく。

●委員からの意見等

特に無し。

(4) 特定教育・保育施設の利用定員の変更等について

●事務局より

資料に基づいて、定員の変更について説明した。

●委員からの意見等

特に無し。

(5) 令和8年度実施の乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の概要説明について

●事務局より

資料に基づいて説明。小樽市では令和8年度から実施予定。利用料については未定であり、国の通知待ちとなる。

●委員からの意見等

・施設の利用料、施設収入については令和7年度ベースで行く形になるのか？

⇒令和8年度からは国の法定価格の給付になるので変更となる可能性がある。

・施設収入については金額が少ないのではないかと？やる施設はあるのか？

⇒これから説明会等を行っていくので、そこでやっていただける事業者というのを探していく形になる。

(6) 小樽市地域子育て支援センターの開設について

●事務局より

資料に基づいて、市内5か所目となる地域子育て支援センターの開設について説明した。令和7年12月にプレオープン予定となる。

●委員からの意見等

・0～6歳が対象とのことだが、上に兄弟がいる場合はどうなるのか？

・子ども預ける場所ではなく交流の場という位置づけになるのか？

⇒兄弟がいる場合は一緒に利用することも可能。今までの地域子育て支援センターと違って土日祝日も開設するので、これまでなかなか来ることが出来なかった方や仕事をしている方が集うことによって色々な交流が持てればと考えている。

<2 その他>

・民間保育協議会からも要望書という形で毎年提出させてもらっているが、幼保小連携について小樽市で進んでいないと感じる。ぜひ働きかけをしていただきたい。

⇒要望については把握した。管轄は教育委員会となるのでこういった意見があったことは伝えさせていただいて、どういったことが出来るのかという事は考えていきたい。

・5歳児健診について、全員が受けるわけではなく希望者だけとなっていると思うが、発達が心配な保護者は小学校に入る時が特に心配されていて、一年前から駆け込み的にデイサービス等に通われる場合もあると聞く。希望者だけではなく全員に行えないのか？

⇒5歳児健診については現在小樽市では行っておらず、セルフチェックシートを配布して気になった場合に連絡をもらうことにしている。5歳児健診については要望もあることや発達のことや就学前の相談というのも同時にできれば効果的な部分もある話なので、今検討を進めているところである。

●事務局より

今後の日程について説明。

●委員からの意見等

特になし

以上